

# イースト

Akita Prefectural University

vol. 10



## 県大ガールズ特集

[特集]

きらり  
輝く

本荘  
キャンパス

03-04

秋田  
キャンパス

05-06

01-02 NEWS&TOPICS  
07 INFORMATION

# NEWS & TOPICS

01



表彰式の様子

本荘 campus

## ものづくりサークル「S.E.I.M.」ソーラーカーレースで3位に入賞

8月6日、7日に秋田県大潟村にて開催された、WGC (WORLD GREEN CHALLENGE) のソーラーカーレース(※注)に、本学のものづくりサークル「S.E.I.M.」のソーラーカー「APU Solar2011」が、開学当初以来となる出場を果たしました。結果は4周を3時間51分14秒で走りきり、オープンクラス(大学生、社会人)で3位に入賞、ジュニアクラス(高校生)を含めたカテゴリーS全体では全21チーム中8位という成績でした。



レーススタート直前グリッドの様子



レーススタート時の様子



秋田県立大学の車「APU Solar2011」

(※注)ソーラーカーレース  
正確にはソーラーバイシクルレースのカテゴリーS。一般的に知られているソーラーカーよりも小さく、同じ大潟村で5月に開催されているバッテリーのみのエコカーレース(WORLD ECONO MOVE)の車両にソーラーパネルを取り付けたようなクラスです。8kg以下の鉛バッテリーと1.2m以下のソーラーパネルを搭載し、1周25kmのコースを5時間以内に何周走ることができるかを競います。ただし、4時間経過以降は新たな周囲に入れず、5時間以内にゴールを通過できないと前の周囲までの記録になります。

今回、CFRP(炭素繊維強化プラスチック)のカウル(覆い)製作に時間がかかってしまい、事前に走行データを取ることができず、レースの作戦を立てられなかったのが、特に残念だった点です。当日もソーラーパネルや車体に多くの問題が発生しました。最後は、電力不足により5周目の途中で走行できなくなってしまいましたが、初出場で3位を獲得できたことは、とても嬉しかったです。今後は、当面の目標である6周完走を目指して、データの収集や課題の改善・改良を進めていきます。今回のソーラーカー製作や大会出場にあたり、援助・協力していただいた方々に御礼を申し上げます。(機械知能システム学科4年・杉浦達也)

## 大学オリジナルエコバッグ販売開始!

県立大学システム科学技術学部と学生自治会、由利本荘市、および売店を運営するみものキャンティーン株式会社との四者により、レジ袋削減のための協定が結ばれました。これに伴い、6月20日からは本荘キャンパスで学生デザインのオリジナルエコバッグ販売を開始しています。レジ袋削減協定締結式は6月9日(木)に由利本荘市役所で行われ、市長らと締結のサインが取り交わされるとともに、作者からエコバッグのデザインが披露されました。自治会長を務める電子情報システム学科2年・佐々木智規さんは、レジ袋の配布中止によって得られた収益を苗木などの購入に充て、地元住民の方々と植樹を行いたいとコメントしました。当初、式は3月下旬に行われる予定でしたが、東日本大震災の影響により延期となって6月に協定締結が実現しました。なお、本荘キャンパス内売店でのレジ袋配布中止は当初の計画どおり4月から行われており、すでに利用者の間にも取り組みが定着しつつあります。エコバッグのデザインは2種類。学生から公募したアイデア8点の中から、学生および教職員の投票で、上位2点が商品化されました。ひとつは風車と3R(リユース・リデュース・リサイクル)を図案化したもの、もうひとつはリスと虹、森をモチーフとして環境への優しさをアピールしたものです。サイズは横40cm×縦30cm。マチ付きなので、買い物袋としての利用だけでなく、テキストや資料を入れて持ち運ぶのにも活躍しそう。現在、本荘キャンパス売店のカウンター脇に陳列され、1枚150円で販売されています。学外の方でも秋田県立大学本荘キャンパス売店で購入することができますので、ぜひお手に取って商品確かめてみてください。



本荘 campus



03

本荘 campus



日本素材物性学会会長(左)からの盾の授与

## 機械知能システム学科・杉本准教授が日本素材物性学会山崎賞を受賞

日本素材物性学会により第23回山崎賞が発表され、機械知能システム学科の杉本尚哉准教授の研究グループが選ばれました。今回の受賞は、2010年9月に発表された研究論文「Heat Flux Distribution of DC Arc under AC Magnetic Field(松本直美、山本武男、杉本尚哉、熊谷誠治、武田紘一)」が高く評価されたものです。杉本准教授らはこの論文の中で、溶接など狭い領域を集中的に加熱する熱源として使われているアークプラズマに、強さが徐々に時間変化する磁場を作用させて、金属材料の表面処理加工など広い領域を用途に合わせて加熱する熱源として利用する方法を明らかにしています。表彰式は6月28日(火)に秋田市の秋田ビューホテルで行われ、盾が授与されました。

本荘 campus



賞状を手にする崎山准教授



主要業績「社宅街 企業が育んだ住宅地」(学芸出版社:2009.5)

## 建築環境システム学科・崎山准教授が日本都市計画学会で奨励賞受賞

社団法人・日本都市計画学会により2010年度の学会賞が発表され、「石川奨励賞」に建築環境システム学科の崎山俊雄准教授が構成員として参加する社宅研究会が選ばれました。「石川奨励賞」は、都市計画に関する独創的または啓発的な業績により、今後の都市計画の進歩・発展に寄与する貢献をした論文・計画・設計・事業等を対象に与えられています。受賞した「『社宅街 企業が育んだ住宅地』ほか一連の研究」は、これまでになかったアプローチで地方産業都市の形成過程を客観的かつ詳細に把握することに成功した点や、掲載されている図版等の資料性が高いといった点が高く評価されました。崎山准教授はこの中で、小坂狐山町と尾去沢狐山町(いずれも秋田県)の歴史を読み解き、記述しています。表彰式は5月27日(金)に東京大学で行われました。

秋田 campus



### 県大生の提案から新たな米粉スイーツ誕生!

8月18日(木)、19日(金)に学生交流力向上事業の一環として、JA秋田やまもとからご協力賜り、地場産米粉を使ったスイーツの新商品開発研修を実施しました。参加した学生たちから提案されたのは、どれも若者ならではの視点・感性によるユニークな作品。それらは9月4日(日)に開催されたJAまつり(主催:JA秋田やまもと)の一環として行われた「米粉スイーツコンテスト」に出品され、来訪者の方々によって審査が行われました。みごと最優秀賞に輝いたのは応用生物科学科築館亜由美さん考案の「こめこ☆焼きだ」でした。この作品、JAによって商品化され、近々発売される予定です。お楽しみに。

秋田 campus



表彰状を手にする蒔田教授

### 「炭やきで夕日の松原まもり隊」の活動が「緑化功労賞」を受賞しました

10月13日(木)に福島県福島市で行われた“平成23年度東北・北海道地区緑化推進協議会”にて、「炭やきで夕日の松原まもり隊」(事務局・秋田県立大学森林科学研究室)の活動が認められ「緑化功労者」を受賞しました。この賞は国土緑化運動に永年にわたり貢献し、その功績が顕著であった方に贈られるものです。表彰式は東北・北海道緑化推進協議会総会の中で行われ、当会を代表して川守田副会長が表彰状を授与されました。【蒔田先生からのコメント】⇒今年も11月に入ると、松くい虫によるマツ枯れ被害木の炭やきを開始します。被害木を資源に!木炭、木酢液として有効活用しています。今年はこの木炭を震災支援物資のひとつとして提供もしました。ぜひ、皆さんも炭やきを楽しみながら地域自然への関心を持ってみてはいかがでしょうか。一般の方の参加もできますので、詳しくは「炭やきで夕日の松原まもり隊事務局・秋田県立大学 森林科学研究室」のホームページをご覧ください。

秋田 campus



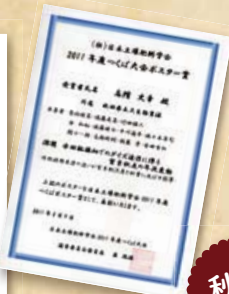
PNASを手にする村口元准教授

### PNASの表紙を飾りました

応用生物科学科の村口元准教授が研究をしている“担子菌のモデル生物:ウシグソヒトヨタケを使った遺伝子機能解析”の中で撮影された写真がPNASのJune 29,2010;107(26)の表紙となりました。このPNASの表紙に掲載された、村口准教授の研究は担子菌ウシグソヒトヨタケの菌糸成長や子実体形成過程に異常を示す突然変異体を誘発し、その原因遺伝子を特定するという研究をしています。

※PNAS = Proceedings of the National Academy of Sciences

表彰状を手にする高階助教



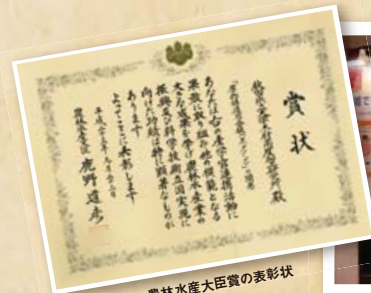
2011年度つくば大会ポスター賞の賞状

秋田 campus

### 生物環境科学科 高階助教が第29回日本土壌肥科学会奨励賞、日本土壌肥科学会2011年度つくば大会ポスター賞を受賞

8月8日(月)~8月10日(水)に茨城県つくば市のつくば国際会議場(エポカルつくば)で開催された日本土壌肥科学会2011年度つくば大会において、生物環境科学科の高階史章助教が「第29回日本土壌肥科学会奨励賞」と「日本土壌肥科学会2011年度つくば大会ポスター賞」の2つの賞を受賞しました。

- 第29回日本土壌肥科学会奨励賞  
「自然および農耕地土壌生態系における物質収支に関する研究」
- 日本土壌肥科学会2011年度つくば大会ポスター賞  
「水田転換畑でのダイズ連作に伴う窒素収支の年次変動~堆肥施用率差の違いが窒素肥濃度と収量に及ぼす影響~」



農林水産大臣賞の表彰状

木高研



開発・研究等についての発表ブース

### 木材高度加工研究所が産学官連携功労者表彰(農林水産大臣賞)を受賞

平成23年9月21日、22日に東京国際フォーラムを会場に開催された第10回産学官連携推進会議の中で産学官連携功労者表彰が行われ、秋田県立大学木材高度加工研究所が独立行政法人森林総合研究所厚物構造用合板研究グループ、東京合板工業組合・東北合板工業組合と共同で産学官連携功労者表彰(農林水産大臣賞)を受賞しました。

産学連携功労者表彰とは、大学、公的研究機関、企業等の産学官連携活動において、大きな成果を収め、また、先導的な取組を行う等、産学官連携の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関し、その功績を称えることにより、我が国の産学官連携の更なる進展に寄与することを目的とし、平成15年度より毎年一回行われているもので、今回が9回目となります。(産学官連携推進会議HPより引用)

受賞した「厚物構造用合板(ネダン)」の開発については、産学官連携推進会議のHPからご覧いただけます。  
<http://www.sendenkaigi.com/sangakukan/award/#agr01>

全学



お手本を見せる馬金魁さん



皮の作り方を教える郭会茹さん



高大連携事業で講義を行う高田教授



市民講演会で講演する山内准教授

### 平成23年度三大学連携事業 作る・知る・学ぶin能代市が開催

11月5日(土)午前10時から「平成23年度三大学連携事業 作る・知る・学ぶin能代市」が能代市の中央公民館と働く婦人の家で開催されました。当日は午前10時~正午まで異文化交流事業として、3大学の留学生が各国の料理を参加された家族と一緒に作りました。県立大学からは中国からの留学生、郭会茹さんと馬金魁さんが参加し餃子(jiao zi)を作りました。皮から手作りの餃子は大好評でした。また、午後1時からは高大連携事業として各大学の先生が高校生を対象に講義を開講、同時刻に別室に市民講演会も開催されました。高大連携事業には木材高度加工研究所の高田克彦教授が「地球の環境変化と森林の役割」と題して講義を行いました。市民講演会は木材高度加工研究所の山内秀文准教授が「東日本大震災 木質瓦礫の大量発生とその処理問題」と題して講演を行いました。

# 県大ガールズ特集

【特集】  
きらり  
輝く

進学の際は、先生も友達も家族もみんな相談にのってくれるけど、同じ悩みを解決して大学生になった先輩のコメントも頼りになるのでは？そこで、秋田県立大学に進学・在籍している学生・先生にインタビューしてみました。

本荘  
キャンパス

01  
Kirari File

## 榎原 あずさ

Azusa Sakakibara

- 電子情報システム学科4年
- 出身県/秋田県 ● 出身高校/御所野学院高校



電子情報システム学科

Q 理系に進んだきっかけは？

A 中学の時はどちらかというと文系科目が得意で、私自身も理系に進むとは思っていませんでした。その頃の私は数学に苦手意識を持っており、勉強をしても長続きしませんでした。高校に上がってからは単位を取らなければいけないという思いから必死に勉強するようになり、そのうちに数学の面白さに気付くようになりました。数学は突き詰めていけば必ず答えの出る科目です。その答えを出すため、様々な公式を用いて考えながら解いていくというプロセスが好きで、大学でも数学を勉強したい、もっと様々な問題を解きたいと思い理系へと進みました。

Q 授業で面白いと思うところはどんなところですか？

A プログラミングによって自分が作りたいものを作り上げることができるところです。プログラミングは少しの間違いがあるだけでも正常に動きませんが、1行1行念入りに考えながら書いていき、自分の思い通りに動かせたときには、大きな達成感を味わうことができます。

Q これからの目標について教えてください。

A 卒業後は、大学で学んだことを生かせる職業への就職が決まっているので、充実した生活を送れるのではないかと期待しています。今後は卒業後に向けて、大学では教わらなかった他のプログラミング言語も勉強していきたいです。また、学生同士のコミュニケーションから一歩抜けだし、社会人として求められるコミュニケーション能力も身につけていきたいです。

02  
Kirari File

## 佐藤 あゆみ

Ayumi Sato

- 総合システム科学専攻・建築材料学グループ
- 出身県/岩手県出身 ● 出身高校/千厩高校

Q 理系に進んだきっかけは？

A 高校時代の私は理系科目より文系科目の方が得意でした。けれど建築学に強い興味があったので、建築学科を進路に選びました。その中でも秋田県立大学システム科学技術学部への入試は文系科目の配点が私に合っていて相性が良かったんです。得意も大切ですが、興味は継続力につながるので興味分野を進路に選ぶことも重要だと、大学生活を通じて実感しています。

Q 研究で面白いと思うところはどんなところですか？

A 私はコンクリートの破壊現象を専門に研究しています。コンクリートの破壊現象は複雑で、材料、施工法、周辺環境、破壊時の状況など複数の要因が絡みます。それら1つ1つを解き、共通のメカニズムに関連付けたときに得られる達成感が、研究の醍醐味だと思います。コンクリートを初めて研究したのは学部1年時の学生自主研究でした。コンクリート中の骨材(砂)が膨張して自らを破壊する現象について、同級生4人と研究しました。一見強そうなコンクリートも内部からの圧力には非常に弱く、その改善法を考察したことは今振り返っても面白いです。

Q これからの目標について教えてください。

A 私には三つの大きな夢があります。一つは、9年間の大学生活の集大成となる博士論文を完成させること。二つ目は、恩師を越えるような一人前の研究者になり、国内外で研究活動を続けていくこと。三つ目は、私を育ててくれた東北、特に岩手県と秋田県に恩返ししていくこと。三つ目の目標については、東日本大震災の復興に関して研究者の立場で貢献したいと考えています。



総合システム科学専攻  
建築材料学グループ



Teacher File 01

## 八木 恭子 助教

Kyoko Yagi  
 ● 経営システム工学科・経営情報研究グループ  
 ● 出身県/愛知県 ● 学歴/南山大学大学院数理工学専攻  
 ● 職歴/東京大学金融教育研究センター

**Q 研究内容について教えてください。**  
**A** 近年の景気低迷社会において、企業が新規事業への参入や既存事業の拡大のために投資を考える際、株式や社債の発行により、資金調達をどのように行うかは重要な課題のひとつとなっています。私は、中でも転換社債(株式へ転換が可能な債券)を発行する企業に着目し、金融工学的手法であるリアルオプションを用いて、企業の事業投資や資金調達に関する研究を行っています。リアルオプションとは、実物資産から派生するオプションであり、需要や費用、物価など不確実な状況下で、投資の意思決定を評価する手法のことをいいます。リアルオプションを用いて、企業の最適戦略を解析的かつ数値的に分析することで、企業経営を支えるような資金調達や投資戦略を理論的に検証しています。

**Q 理系に進んだきっかけは?**  
**A** 中学生や高校生の頃から数学が好きだったことだと思います。答えがただ一つ求まるといった分野が私には合っていたようです。数学も問題を解くテクニックを覚えるという点では、他の科目と同じで暗記科目なのかもしれませんが、問題に取り組む際、そのテクニックをどのように組み合わせるのかという過程が、数学のとても面白いと感じています。その面白さや楽しさは今でも続いており、数学を用いた解析的な分析やプログラミングでの数値実験などの研究を行っています。



経営システム工学科  
経営情報研究グループ



## 女子もがんばるサークル紹介♪

### ジャズバンドサークル



サークル代表代理  
**吉野 亜弥香**  
 よしの・あやか

- 電子情報システム学科2年
- 出身県/富山県
- 出身高校/入善高校



**練習はどこで、どのように行っていますか?**  
 毎週月・木曜日に、部室とカフェテリア2階を借りて行っています。管楽器の人はカフェテリアで、それ以外は部室で、という風に分かれて基礎練習や個人練習を行います。また、カフェテリア2階に集まり合奏などもしています。イベントが近づくにつれ練習日が増えることもありますが、あまり苦に感じることはいらないですね。練習が楽しいというより、みんなでガヤガヤ(笑)楽しくやっているからだと思います。

**大会やイベントに参加したときのエピソードなど教えてください。**  
 最近では鳥海高原菜の花まつりというイベントに参加したり、秋田新電元さんの夏祭りで演奏させてもらったりしました! 菜の花まつりでは、演奏や会場のお手伝いしつつ、空いた時間に遊んだり食べたりしていました(\*^▽^\*) 地域の方をはじめとして色々な人たちと交流できて良かったと思います。新電元さんの夏祭りはオープンキャンパスと日程が重なっていて、初めて1日に2つのイベントに参加しました。慌ただしく大変でしたが、多くの方々と触れ合うことができたので、とても楽しかったです!

### Jazz Band Circle

サークル名	ジャズバンドサークル
創立年	2001年
部員数	25人
活動期間・時間	月、木18時~21時
主な活動場所	部室、カフェテリア2階

**今後の活動予定や、サークルのPRをお願いします。**  
 今後は学内だけでなく、学外でのイベントにも積極的に参加していくようにしたいと思っています。地域の方々や一般の人たちとの交流も積極的に行っていきたいと思っていますので、演奏の依頼もお待ちしております! また、部員も募集中です!! 初心者・経験者問わず大歓迎なのでぜひ一度見学に来て下さい!! 特に女の子大募集中です(\*ω\*)



# 県大ガールズ特集\*

【特集】  
きらり  
輝く\*

秋田  
キャンパス

## 石川 匡子 准教授

Kyoko Ishikawa

- 応用生物科学科・食品醸造研究グループ
- 出身県／秋田県
- 学歴／秋田大学大学院鉱山学研究科物質工学専攻
- 職歴／秋田県立大学生物資源科学部 助教

### Q 研究内容について教えてください。

**A** 塩は私達の食生活に不可欠なものであり、ほとんどの食品には塩が含まれています。これらの食品の中に含まれる塩は、調味料としてだけでなく、脱水浸透、保存、発酵調整を担っています。しかし、メカニズムについては明らかになっていないことも多く、その解明に取り組んでいます。一方で、塩分のとりすぎは生活習慣病の一因であるとされ、予防のために減塩が薦められています。しかし、塩は料理において塩味をつけるだけでなく、うま味など他の味を引き立たせる作用もあり、減塩はおいしさを損ないかねません。そこで、塩味と他の味が引き起こす相乗効果により、塩味を強く感じられるような減塩効果を有する新規調味塩の研究も行っています。

### Q 理系に進んだきっかけは？

**A** 理系科目に興味を持ったきっかけは、中学で初めて目にした化学式でした。目に見えない空間で化学式に書かれた様々な反応が起こっていることに驚きました。高校入学後、大学の学部や卒業後の進路について調べ、化学には幅広い分野があること、学んだ知識は、技術・研究開発に発展していくことを知りました。また、女性でも技術職や研究職に就いて活躍している人がいることを知り、自分もそうなりたと思ったことが理系に進んだきっかけです。今は食品科学を研究していますが、化学を学んで身につけた基礎は、分析などで役に立っていると思います。



Teacher  
File 02

応用生物科学科  
食品醸造研究グループ

03

## 高橋 美子

Yoshiko Takahashi

- 応用生物科学科4年
- 出身県／秋田県 ● 出身高校／本荘高校

### Q 理系に進んだきっかけは？

**A** 小さい頃から食べることで動物が好きでした。そのため高校に入学した当初から大学では食物や生物についての勉強がしたいと思い、秋田県立大学の応用生物科学科を進路に選びました。大学での勉強は高校の頃よりも最先端の話題や知識に触れる機会がたくさんあるため、学びたいという意欲がどんどん湧いてきます。自分が好きで学び研究している技術が、実用化され多くの人の生活をより良いものにできれば素晴らしいことだと思います。成果が自分だけでなく他の人のためになるということも、理系で学ぶ魅力だと大学生活を通して感じています。

### Q 授業・研究で面白いと思うところはどんなところですか？

**A** 現在減塩効果のある新規調味塩について研究しています。味には相乗効果があり、旨味や酸味には塩味を増強する効果があります。現在は、梅の酸味を利用して塩味の強い調味塩の開発を目指しています。微妙な濃度の違いで塩味に影響が出るため、調製を繰り返して一つの味を追及していくところがとても面白いです。

### Q これからの目標について教えてください。

**A** 現在行っている研究を3月の学会で発表し、しっかりとした形で完成させたいです。また県立大学の事務職員として内定を頂いており、この4年間で学んだことや体験したことをすべて生かせる職場だと感じています。来年からは学生の立場に立った対応を心掛け学生のサポートを全力で行ってまいります。



応用生物科学科





## 倉島 梢

Kozue Kurashima  
● 生物資源科学専攻・生物活性物質グループ  
● 出身県／福島県 ● 出身高校／葵高校



**Q** 理系に進んだきっかけは？

**A** 高校時代に進路を決める時に、自分は作業療法士になりたいと思っていました。仲の良い友達は獣医になりたいと話をしていて、ヒトも動物も同じ生物というところから得意とまでは言えませんでした。生物に興味を持っていました。生物の勉強では現象や症状の原因や要因を知るたびに興味がどんどん深まっていき、“生物”のことについて幅広く学ぶことができる県立大学への進学を決め、生物生産科学科へ入学しました。

**Q** 研究で面白いと思うところはどこですか？

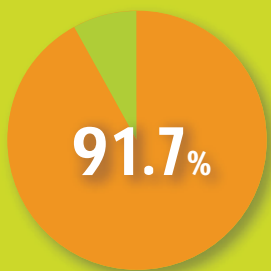
**A** 今は虫の幼虫がエサを食べる時に好む化学物質について研究をしています。その際にはいろいろな実験機器を使っています。実は高校時代は顕微鏡のピント合わせが苦手というか、できなかったのですが、気付くと大学の実験ではちゃんとできるようになっていました。実験ができるという部分はもちろん面白いのですが、なぜこのような現象が起きるのか、何が要因でこのような結果になるのかなど、原因・要因を追究し、それらを知ることができるのが面白く感じています。

**Q** これからの目標について教えてください。

**A** 2011年10月に中国の北京で開催された学会に参加しました。その学会で発表した内容について更に研究を進めて、新たな結果を出していきたいと思っています。なんで？どうして？が出てくるたびに、それらを追究し自分の知識を広げていきたいと思っています。

## 県大を卒業した女子学生の就職先は？

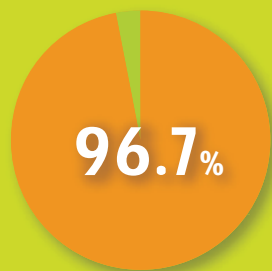
平成23年3月に卒業した第9期生の就職先はどんな企業があるのか紹介します。



**システム科学技術学部**  
就職率：91.7%  
県内企業：3名  
県外企業：19名

### システム科学技術学部

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 東日本旅客鉄道(株)      | (有)原田構造設計室        |
| 日本エクス・クロン(株)    | 大吉建設(株)           |
| CEC 新潟情報サービス(株) | (株)岡部             |
| (株)アキタ電子システムズ   | (株)サンデリカ          |
| (株)クロスキャット      | 日本SE(株)           |
| 新菱冷熱工業(株)       | (株)ライフパートナー       |
| 小原建設            | (株)ノジマ            |
| (株)ライク          | 浜松市役所             |
| 積水ハウス(株)        | 北日本コンピューターサービス(株) |
| P.V ソーラーハウス協会   | (株)エス・エフ・シー       |
| (株)木下工務店        | 松美造園工業(株)         |



**生物資源科学部**  
就職率：96.7%  
県内企業：28名  
県外企業：30名

### 生物資源科学部

- |              |                |
|--------------|----------------|
| (株)北部銀行      | むつみ造園土木(株)     |
| 太子食品工業(株)    | 川本産業(株)        |
| (株)不二家       | 新化食品(株)        |
| 森永乳業(株)      | 秋田おぼこ農業協同組合    |
| (株)静環検査センター  | (株)ツルハホールディングス |
| 日本赤十字社秋田県支部  | (株)小国製麺        |
| 秋田しんせい農業協同組合 | (株)民友薬品        |
| 宮城県庁(園芸)     | (株)秋田銀行        |
| トモエ乳業(株)     | (株)板橋組         |
| (株)秋田銀行      | (株)秋田スズキ       |
| 秋田県商工会連合会    | 大瀧村役場 など       |



「イスナ」は、秋田弁で「良いですね」と言う意味。  
 「イスナ」は、秋田弁で「良いですね」と言う意味。  
 人材育成・研究開発を通して、地域社会の発展のために「良い」ことを発信  
 していきたいと言う願いを込めています。これからも応援よろしくお願ひします。



10月8日、9日に開催した松風祭  
 (キャンドルナイトの様子)

平成23年度 **秋田県立大学公開講演会を開催しました!!**

11月6日(日)午後1時から秋田県立大学秋田  
 キャンパス大講堂において、平成23年度秋田  
 県立大学公開講演会を開催しました。今年度  
 の講師の先生は「女性の品格」の著者でもあり、  
 昭和女子大学学長の坂東真理子先生をお  
 招きして「これからの社会と女性の品格」と題  
 し、ご講演をいただきました。



▲講演をされる坂東真理子先生



たくさんの方々に  
 聴講いただきました▼



平成23年度 **公立大学法人秋田県立大学公開講座実績**

(1) 全学公開講座

テーマ	演題・講師	日時	会場	参加
秋田の「イスナ」を 育もう 《秋田市会場》	秋田の中小企業経営戦略 システム科学技術学部/谷内宏行教授 条件不利地域の存在意義と魅力 生物資源科学部/長瀬健一郎教授	平成23年 7月18日(土) 13:30~16:00	明徳ビル2階 カレッジプラザ (講堂)	63名
秋田の「イスナ」を 育もう 《にかほ市会場》	秋田の中小企業現場改善の進め方 システム科学技術学部/谷内宏行教授 条件不利地域の存在意義と魅力 生物資源科学部/長瀬健一郎教授	平成23年 7月23日(土) 13:30~16:00	にかほ市 総合福祉交流 センター	30名

(2) システム科学技術学部公開講座

テーマ	演題・講師	日時	会場	参加
地震被害に 教えられて	地震被害調査で何を見る? 建築環境システム学科/西田哲也教授 鉄筋コンクリート造建物は津波に強かったか? 建築環境システム学科/寺本尚史助教	平成23年 8月27日(土) 13:30~16:00	明徳ビル2階 カレッジプラザ (講堂)	41名
2回シリーズ	鉄骨造建物は地震でどうなったか? 建築環境システム学科/小幡昭彦助教 住宅の津波被害 建築環境システム学科/石山智助教	平成23年 9月3日(土) 13:30~16:00		36名

(3) 生物資源科学部公開講座

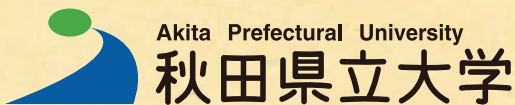
テーマ	演題・講師	日時	会場	参加
秋田に新たな 価値を生み出す 私達の挑戦	秋田県農業の位置づけと課題 アグリビジネス学科/長瀬健一郎教授 県大発、牛肉の美味しさを再発見 アグリビジネス学科/濱野美夫准教授 ツクネイモが魅せる潜在能力に賭ける アグリビジネス学科/吉田康徳准教授	平成23年 9月17日(土) 13:00~16:00	明徳ビル2階 カレッジプラザ (講堂)	86名
1回シリーズ	目指せ!キイチゴ特産化 フィールド教育研究センター/今西弘幸准教授			

公開講座

公開講演会

公立大学法人秋田県立大学公開講演会

演 題: これからの社会と女性の品格  
 日 時: 平成23年11月6日(日)  
 講 師: 昭和女子大学学長  
 坂東真理子(ばんどうまりこ)先生  
 会 場: 秋田県立大学秋田キャンパス/大講堂  
 参加者: 558名(ハガキ回収数より)



<http://www.akita-pu.ac.jp/>  
 E-Mail: [koho\\_akita@akita-pu.ac.jp](mailto:koho_akita@akita-pu.ac.jp)

**【秋田キャンパス】** ●本部・生物資源科学部 ●大学院/生物資源科学研究科  
 〒010-0195 秋田市下新城中野字街道端西 241-438 TEL.018-872-1500 FAX.018-872-1670  
**【本荘キャンパス】** ●システム科学技術学部 ●大学院/システム科学技術研究科  
 〒015-0055 由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4 TEL.0184-27-2000 FAX.0184-27-2180  
**【大湯キャンパス】** ●生物資源科学部(アグリビジネス学科3・4年次)  
 〒010-0444 南秋田郡大湯村字南 2-2 TEL.0185-45-2026 FAX.0185-45-2377  
**【木材高度加工研究所】**  
 〒016-0876 能代市字海跡坂 11-1 TEL.0185-52-6900 FAX.0185-52-6924



10月15日、16日に開催した潮風祭